学校番号	104

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新課程版　ビーライン地学基礎（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年時に学習した地学基礎の知識を踏まえ、地球科学や宇宙について、性質や特徴、時間の変化について知識や理解を深めることができるよう学習します。授業内容に留まらず身近な事象や物質に興味を持ち、論理的に理解することで、望ましい自然観や物質観を身につけることを目標とします。授業では復習の後に発展的な内容を扱うとともに実践問題演習を行います。基礎学力を定着させつつ実践的な力も養います。授業を受けた後、教科書を復習し、問題集にも積極的に取り組んでいってください。問題集等を利用して、より多くの問題を解いて理解するように努めてください。

2　学習の到達目標

１．日常生活や社会との関連を図りながら，宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。
２．地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い，科学的に探究する資質・能力を育てる。
３．地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，地学的な見方や考え方を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・理科に関する事物や現象について、基本的な概念や、原理･法則を理解し、知識を身に付けている。	・理科的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・理科的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	基本事項の確認・整理	[地学基礎] 1. 地球の形と大きさ 2. 地球の構造 3. プレートテクトニクス 4. 地震 5. 火山活動 6. 火成岩 7. 火山の恵みと災害	a:各学習項目において基本事項を理解し、問題を解答するうえで必要な基礎知識を習得している。 b:グラフや表などの資料をもとに考察し、問題を解答することができる。 c:共通テストに向けて自主的に学習に取り組める。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物	実験探究 提出物
二学期	問題演習	[地学基礎] 1. 大気の構造 2. 地球全体の熱収支 3. 大気の大循環 4. 海水の運動 5. 日本の天気と気象災害 6. 気候の自然変動 7. 太陽系の天体 8. 太陽系の誕生と地球	a:各学習項目において基本事項を理解し、問題を解答するうえで必要な基礎知識を習得している。 b:グラフや表などの資料をもとに考察し、問題を解答することができる。 c:共通テストに向けて自主的に学習に取り組める。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物	実験探究 提出物
三学期	問題演習	[地学基礎] 1. 堆積作用と堆積岩 2. 地層の形成 3. 化石と地質時代の区分 4. 古生物の変遷〞 5. 日本の自然環境	a:各学習項目において基本事項を理解し、問題を解答するうえで必要な基礎知識を習得している。 b:グラフや表などの資料をもとに考察し、問題を解答することができる。 c:共通テストに向けて自主的に学習に取り組める。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物	実験探究 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度